

働き方を変えるかテレワーク

◆関係6府省と東京都がテレワーク・デイズ2019を実施

総務省、厚生労働省ほか関係6府省と東京都は、在宅勤務やサテライトオフィス、モバイルワークなどのテレワークを企業・団体に呼びかける「テレワーク・デイズ」を2017年から毎年実施している。19年は東京五輪開会式にあたる7月24日(水)を「テレワーク・デイ」、この日を含む7月22日(月)～9月6日(金)を「テレワーク・デイズ2019」として実施している。

テレワーク・デイズ 2019 の主なポイント

ポイント	概要
実施期間	19年7月22日(月)から9月6日(金)の約1ヵ月間。この期間内に5日間以上の実施を呼びかける。
コア日	テレワーク一斉実施の効果を測定するため、7月24日(水)を「コア日」として設定。
東京五輪のための試行	都内企業には、東京五輪・パラリンピック開催日程を想定し7月22日(月)～8月2日(金)、8月19日(月)～8月30日(金)に集中実施を呼びかける。
目標	全国で3,000団体、延べ60万人以上の参加を目標とする。
多様な働き方を推奨	時差出勤やフレックスタイムなどを組み合わせた、多様な働き方を奨励する。

出所：厚生労働省報道発表資料を基に作成。

https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000203549_00001.html (19.07.25確認)

◆2千を超える団体がテレワーク・デイズ2019に参加

テレワーク・デイズ2019には19年7月31日時点で170の団体が①5日間以上実施、②7月24日(水)に100名以上実施、③効果測定(実施人数、コスト削減の効果等)に協力可能な特別協力団体として、1,909の団体が参加人数等を問わずテレワークを実施または試行する実施団体として参加している。

参加する団体の中には民間企業も多い。たとえば、日立製作所は在宅勤務やサテライトオフィス勤務などの実施と、時差通勤、休暇取得を促して早朝の通勤者数削減を目指す。トヨタ自動車は東京地域に勤務する約1,650人の従業員に原則4日間の在宅勤務を呼びかける。KDDIはリモートアクセスによる勤務が可能な約7,000人の7割にあたる約5,000人の参加を目指す。化学企業でも、三菱ケミカルが全期間を通して全国14拠点に参加し、7月24日(水)から8月2日(金)は集中実施期間としてSkypeを活用したリモート会議の実施を呼びかける。

◆働き方改革実現の有効な手段と考えられているテレワーク

官民がテレワークに取り組むのは、働く人々が個々の事情に応じて多様で柔軟な働き方を選択できるようにする「働き方改革」を進めるためである。この改革の課題の一つである柔軟な働き方の実現にテレワークが有効と考えている。

テレワークは従業員にとって通勤時間を節約できる、子育てや介護をしながら仕事が可能、周囲を気にすることなく作業に集中できるなどのメリットがある。経営者にも、業務機能や従業員が1ヵ所に集中しないので震災などにより生じるリスクを分散できる、多様な働き方を提示することで従業員の離職率低下や生産性向上、企業イメージの向上などが期待できるメリットがある。その反面、従業員には自己管理に失敗すると生産性がかえって低下したり、労働時間が長くなる、コミュニケーション不足や孤立に陥るなどのデメリットが生じる可能性がある。経営者には情報機器等のセキュリティ管理を今まで以上に厳重にする、従業員の労働の実態が把握しづらくなるため、これまで以上に従業員の管理や評価を正当に行う工夫が必要になるなどの課題が出てくる。

◆定型業務の生産性向上などには大きな効果、テレワーク・デイズを契機に

「多様な働き方に関する実態調査（テレワーク）」（平成31年3月 東京都産業労働局）ではテレワークを導入している都内企業は19%である。導入企業の多くは「定型業務の生産性向上」「従業員の通勤時間、勤務中の移動時間削減」「育児中の従業員への対応」などを効果としている。従業員は「通勤時間・移動時間の削減」「育児との両立」「業務への集中力向上」「家族と接する時間の増加」をメリットに、「勤務時間とそれ以外の時間の管理」「社内のコミュニケーションに支障がある」「長時間労働になりやすい」「情報漏えいが心配」をデメリットにあげている。テレワーク未経験者がテレワークをしていない理由には「勤務先にテレワークできる制度がない」「テレワークに適した仕事ではない」が多い。

テレワークは定型化された業務、1人で行うことができ、セキュリティ上安全な業務、具体的には資料の作成、データの入力・分析、デザインやプログラミング、マーケティングなどの調査に適している。これらの業務からまずテレワークを始めてみる。その契機にテレワーク・デイズへの参加がなれば、働き方改革は前進していくだろう。

【藤井和則】